

17日、米カールスバッドで、元米兵らと面会後に記者会見する小泉純一郎元首相（東條仁史撮影）



トモダチ作戦被ばく

「元米兵を助けたい」

小泉氏、面会後に会見

【カールスバッド（米カリフォルニア州）東條仁史】脱原発を唱える小泉純一郎元首相は十七日、東日本大震災後の米軍による支援「トモダチ作戦」に参加した元米兵らとの面会後、当地で記者会見した。元米兵らは福島第一原発事故の影響で被ばくしたとして東京電力などを提訴。小泉氏は「日本を救援した人が病気で苦しんでいることを無視してはいけない。日米両国民に知ってもらわなければと痛感した」と述べた。

小泉氏は十五日から三日間の日程で元米兵やその家族ら計約十人と会い、この日の会見にはうち五人が同席した。小泉氏は「（体の）いろいろな部分が痛んで、除隊を余儀なくされた」と時折涙ぐみながら原告の症状などを説明。「帰国後、心ある人々と相談し、どのような支援をできるか真剣に考えたい」と述べ、経済界とも連携して支援していく考えを示した。

お断り 「惨禍の黙示録」は休みました。

件名 福島原発事故関連
日附 '16.5.18
出所 東京 (9刊)